昱工會報

第25号
平成30年２月26日
発行　日立工業高校同窓会
発行者　同窓会事務局
日立市城南町２－12－１
☎0294（22）１０４９
FAX 0294（21）４５９１
印刷所　ＳＡＴＯプリント
☎0294（33）０８８３

会長挨拶

同窓会会長　梶山　隆範

昱工会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。今年度の役員改選により、長谷川宏前会長から会長職を引き継ぎました梶山隆範と申します。昱工会発展の為に微力ながら力を尽くしていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

長谷川前会長におかれましては平成15年から14年間の長きにわたり同窓会事業にご尽力されました。平成24年に盛大に執り行われた本校創立70周年の記念事業をはじめ、精力的に取り組まれた長谷川前会長の14年間を思うと、偉大なる先輩から受け継いだ襷の重さに身の引き締まる思いです。

さて、本校の生徒の今年度の活躍に目を向けますと、「技能検定」の取得者の充実が目立ちます。本来技能の伝達というものは、在学中は「実習」で、企業に入社後は「研修」や「実務経験」により人から人へと引き継がれていくイメージではありますが、本校では「資格指導の延長」で「技能検定」の取得に力を入れていると聞いております。最近では本校卒業生の技能五輪での活躍を聞くことも少なくありませんが、現在の生徒にもしっかりと「日工スピリッツ」を受け継がれていることを考えると、何とも感慨深く感じます。変わりゆく時代の流れを感じるとともに、現代でもその技術の習得に懸命に取り組んでいる在校生におきましてはとても嬉しく、また誇らしく思います。

また、本校の今年度の学校行事としては芸術鑑賞会があり、日立市民会館に劇団を招いて、「夢とロボット」をテーマにした演劇を鑑賞し、大変好評であったと聞いています。「ロボット」という響きはいつまでも夢を感じさせる私の好きなものの一つでもありますが、本校の在校生にもぜひ夢や希望を持って学業に励んで頂きたく思います。

そして今年度は、選挙権の18歳への引き下げや茨城県知事選等、行政の面でも変革の年となりました。日立市としても市役所新庁舎が完成し、技術者のお膝元であるこの日立の地で頼もしい同窓会員が増え続けていることには私も背中を押されております。

我らが同窓会といたしましても、昨年度購入したバスが各部活動の遠征・大会等に大いに役立てて頂けていると聞き、嬉しく思います。これからもぜひご活用頂き、部活動の発展に寄与できればと思います。

母校の進路状況においても今年度は、昨年度に続き就職希望者の就職内定率百％を早々に達成し、進学希望者についても希望する学校への合格を続々と決めていると聞いております。売り手市場と言われる昨今の状況とはいえ、本校在校生の努力の結果であることはもちろん、支えて頂いた保護者の方々、教職員の方々、そして各方面で活躍されている本校卒業生の方々のお陰でもあることを、３年生の生徒諸君はぜひ感謝し、卒業していただきたく思います。卒業される生徒諸君においては４月からの新生活において、本校卒業生である誇りと自信を持って仕事や学業に臨んでもらいたいと思います。

最後に、昱工会会員の皆様におかれましては、これからも変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げますとともに、母校の更なる発展をご祈念申し上げ、新会長挨拶とさせていただきます。

学校長挨拶

学校長　川嶋　正人

今年度、宮田前校長先生の後任として赴任いたしました。四年前、定時制の教頭として勤めておりましたので、懐かしさを感じておりますが、同窓生の皆様が築き上げてきた実績と伝統を考えますと、身の引き締まる思いであります。本校の更なる充実・発展のため微力ではありますが、力を尽くす所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご存知のとおり、本校は昭和十七年に地域の期待を担って日立市立中学校として設立され、昭和二十三年に日立工業高等学校に改編され現在に至っており、今年度で創立七十五周年を迎えました。卒業生は一万四千人を超え、県北地区や県内はもとより、広く県外・各界において大いに活躍なされております。同窓生の皆様のご努力の賜物と深く敬意を表します。

前同窓会会長の長谷川　宏様には、平成十五年度から四代会長として長年にわたり、本校及び本校生徒へのご支援と、同窓会の発展のためご尽力くださいまして誠にありがとうございました。この場をお借りいたしまして、改めて心から感謝申し上げます。長谷川前会長様には、今後は顧問として引き続きご指導くださいますようよろしくお願い申し上げます。また、今年度から新会長といたしまして、梶山　隆範様がご就任なされました。ご存知のとおり、梶山様は日立市の副市長でございます。地域に根ざした工業高校として、地域に育てられ、地域を担う人材を育成する本校にとりまして、大変心強いものです。